



## 国外資産の譲渡益に対する税制改正案

在シンガポール日系企業の皆様

詳細については、次の英文ニュースレターをご参照ください。

<https://www2.deloitte.com/content/dam/Deloitte/sg/Documents/tax/sg-tax-bytes-draft-provision-to-tax-gains-on-disposal-of-foreign-assets.pdf>

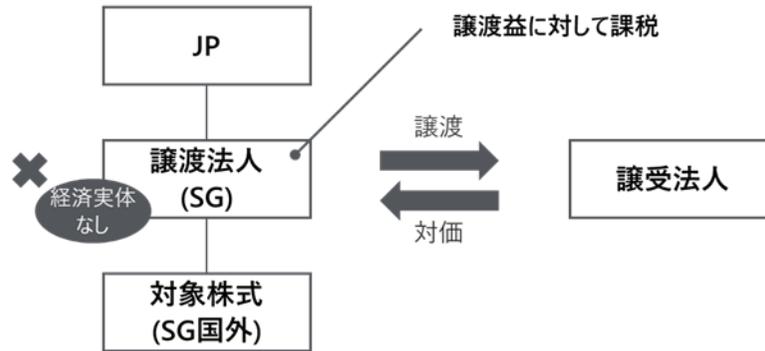
2023年6月6日、財務省 (Ministry Of Finance) は 2023 年税制改正案を公表しました。国際税務の領域における大きな改正事項として、Section 10L (Gains of a relevant entity from the sale of foreign assets) の導入が挙げられます。

従来シンガポールではキャピタルゲインにつき非課税とされていましたが、譲渡者たるシンガポール法人が経済実体の要件を充足していないなど一定の状況下においては、国外資産の譲渡等により生じたキャピタルゲインで、シンガポールで受領されたものについて、本 Section 10L により課税対象となります。本改正案が導入された場合、2024年1月1日以後において適用となります。

本改正案の背景としては、EU において、国外源泉所得の非課税規定 ("foreign-sourced income exemption" ("FSIE")) につき、全ての受動的所得に対して経済実体要件の充足を求めていることが影響しているものと考えられます。

従って、例えば日系企業のシンガポール子会社がシンガポール国外会社の株式を保有しており、これを再編により他のグループ会社に譲渡する場合や、Exit により第三者に売却する場合などにおいては、本規定の影響を検討する必要があります。これらの取引から生じる譲渡益は、従来いわゆるセーフハーバー規定の適用を受け

非課税となることも多かったところですが、本 Section 10L は当該セーフハーバー規定をオーバーライドする規定となっており、課税対象となる可能性があります。



経済実体の要件については Section 10L の“excluded entity”の定義において規定されています。経済実体の要件は譲渡者の性格により 2 つに区分されており「純粋持株会社(“pure equity-holding entity”）」と「その他」に分かれます。前者の純粋持株会社の方が経済実体の要件が緩和されていますが、純粋持株会社に該当するための要件として収益の範囲が限定されており、例えば受取利子等が生じていた場合に、純粋持株会社に該当するか、まだ不明な点もあります。後者のその他は経済実体の要件が相対的に厳しく、シンガポールにおける従業者数、当該従業者の質・経験、事業支出額、意思決定者のロケーション等から総合的に判断されることとなりますが、具体的な閾値は現状、明確になっておりません。

その他の留意点としては、本 Section 10L はあくまで譲渡益 (Gain) に対するものであり、譲渡損 (Loss) については本 Section 10L で規定されるものではないため、従来通り損金不算入となると考えられます。

### 日系企業への影響

本 Section 10L の発動要件の一つである経済実体の要件について、当該経済実体要件を充足しない場合には、日本においても外国子会社合算税制 (J-CFC 税制) の経済実体要件を充足せず、J-CFC 税制の対象となり合算課税を受けることも多いものと推察されます。従って、概括的には、シンガポールで本 Section 10L によりキャピタルゲイン課税が生じたとしても、日本においても J-CFC 税制の対象となり合算課税を受けることになり、シンガポールのキャピタルゲイン課税は日本の外国税額控除の対象となるものと考えられることから、日本で外国税額控除が十分機能する限りにおいては、グローバルの税負担は日本の実効税率約 30% に収斂されることになると考えます。ただし、細かく見た場合、例えば次のような状況も考えられます。

- 日本での法人税額が十分に生じておらず、シンガポールでのキャピタルゲイン課税額について日本で外国税額控除を十分に取れず、グローバルで追加の税負担が生じてしまう。
- J-CFC 税制では経済実体の要件を充足するが、本 Section 10L の経済実体の要件を充足しない場合には、シンガポールにおける課税分、追加の税負担が生じてしまう。(一般的に J-CFC 税制の経済実体要件の方が Section 10L における経済実体要件より厳しいと考えられるため、当該事象が生じる場合は限定的と想定されます。)
- J-CFC 税制による税負担と比較し、税負担が生じる法人は日本親法人ではなくシンガポール子法人となり、またシンガポールでの課税が日本親法人の J-CFC 税制による課税に先んじるためキャッシュアウトのタイミングが早くなる。

このようなことから、本税制改正案の今後の詳細内容の公表を確認し、詳細な検討を行うことが推奨されます。

### 連絡先

記事に関する詳細やご質問は以下までお問い合わせください。



**五十嵐 潤**

Jun Igarashi

Partner

SEA Japanese Tax Service Leader

Deloitte Singapore

+65 9244 3909

[juigarashi@deloitte.com](mailto:juigarashi@deloitte.com)



**高橋 良克**

Yoshikatsu Takahashi

Director

International Tax

Deloitte Singapore

+65 8027 3379

[yotakahashi@deloitte.com](mailto:yotakahashi@deloitte.com)



**矢部 直人**

Naoto Yabe

Senior Manager

International Tax

Deloitte Singapore

+65 6531 5228

[nayabe@deloitte.com](mailto:nayabe@deloitte.com)



Deloitte Singapore | Add Deloitte as safe sender

Deloitte refers to one or more of Deloitte Touche Tohmatsu Limited (“DTTL”), its global network of member firms, and their related entities (collectively, the “Deloitte organization”). DTTL (also referred to as “Deloitte Global”) and each of its member firms and related entities are legally separate and independent entities, which cannot obligate or bind each other in respect of third parties. DTTL and each DTTL member firm and related entity is liable only for its own acts and omissions, and not those of each other. DTTL does not provide services to clients. Please see [www.deloitte.com/about](http://www.deloitte.com/about) to learn more.

Deloitte Asia Pacific Limited is a company limited by guarantee and a member firm of DTTL. Members of Deloitte Asia Pacific Limited and their related entities, each of which are separate and independent legal entities, provide services from more than 100 cities across the region, including Auckland, Bangkok, Beijing, Hanoi, Hong Kong, Jakarta, Kuala Lumpur, Manila, Melbourne, Osaka, Seoul, Shanghai, Singapore, Sydney, Taipei and Tokyo.

This communication contains general information only, and none of Deloitte Touche Tohmatsu Limited (“DTTL”), its global network of member firms or their related entities (collectively, the “Deloitte organization”) is, by means of this communication, rendering professional advice or services. Before making any decision or taking any action that may affect your finances or your business, you should consult a qualified professional adviser.

No representations, warranties or undertakings (express or implied) are given as to the accuracy or completeness of the information in this communication, and none of DTTL, its member firms, related entities, employees or agents shall be liable or responsible for any loss or damage whatsoever arising directly or indirectly in connection with any person relying on this communication. DTTL and each of its member firms, and their related entities, are legally separate and independent entities.

Information provided about the programme, agenda and speakers is indicative only and the organiser reserves the right to make changes to them.

© 2023 Deloitte & Touche LLP

To no longer receive emails about this topic please send a return email to the sender with the word “Unsubscribe” in the subject line.